

神戸市立工業高等専門学校教育方針等に関する規則

2023年4月1日

規則第109号

(目的)

第1条 この規則は、神戸市立工業高等専門学校（以下「本校」という。）の教育方針等を定めることを目的とする。

(教育方針)

第2条 本校の教育方針は、次のとおりとする。

人間性豊かな教育	心身の調和のとれた、たくましく感性豊かな人間形成をめざして、教養教育の充実をはかるとともに、スポーツ・文化クラブ等の課外活動を振興する。
基礎学力の充実と深い専門性を培う教育	工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者及び開発型技術者を養成する。
国際性を育てる教育	国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、世界的視野を持った、国際社会で活躍できる技術者を養成する。

(養成すべき技術者像)

第3条 本校（専攻科を除く。以下同じ。）は、健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者及び開発型技術者を養成することを旨とする。

2 本校の養成すべき技術者像は、次のとおりとする。

システム情報工学科	数学、自然科学、データサイエンス、情報通信技術、エレクトロニクスの基礎知識と基礎技術を習得し、豊かな教養教育のもと、身に付けた高度情報技術を用いて、創造性も合わせ持つ柔軟な思考を有し、多種多様な課題を解決し、新たな価値を創造することができる実践的技術者を養成する。
知能ロボット工学科	数学、自然科学、データサイエンス、メカトロニクスの基礎知識と技術を習得し、豊かな教育教養のもと、PBL・技術コンテスト・展示会など、実践的かつ能動的な学びを通じて、今までにないロボットを作る、という挑戦心とコミュニケーションスキルを併せ持つ実践的技術者を養成する。
機械システム工学科	数学、自然科学、データサイエンス、機械工学に関する力学、設計・加工の基礎知識や技術を習得し、豊かな教養教育のもと創造性や柔軟性を合わせ持ち、エネルギー・環境問題の観点から持続的社会的の実現に貢献できる実践的技術者を養成する。
電気電子デザイン	数学、自然科学、データサイエンス、電気電子回路、電子デバイ

ン工学科	スの基礎知識と技術を習得し、豊かな教養教育のもと、地球環境問題を含む社会問題に対する創造のために行動するデザイン性を培い、未来に果敢に挑戦する実践的技術者を養成する。
環境応用化学科	数学、自然科学、データサイエンス、有機化学、無機化学、物理化学の基礎知識と技術を習得し、豊かな教養教育のもと、環境に配慮した応用化学的観点から持続可能な社会に向かって取り組むことができる実践的技術者を養成する。
都市デザイン工学科	数学、自然科学、データサイエンス、都市環境、防災・減災、維持管理の基礎的知識と技術を習得し、豊かな教養教育のもと、今後の時代の要請に適合する知識や技術に関する幅広い専門知識と創造性を合わせ持つ実践的技術者を養成する。

(3つのポリシー)

第4条 本校の3つのポリシー（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「施行規則」という。）第165条の2第1項第1号から第3号までに掲げる方針をいう。以下同じ。）のうち、施行規則第165条の2第1項第1号に掲げる方針は、別記1のとおりとする。

2 本校の3つのポリシーのうち、施行規則第165条の2第1項第2号に掲げる方針は、別記2のとおりとする。

3 本校の3つのポリシーのうち、施行規則第165条の2第1項第3号に掲げる方針は、別記3のとおりとする。

(管理)

第5条 前3条の教育方針、養成すべき技術者像及び3つのポリシーの管理は、事務室総務課が行う。

(改廃)

第6条 この規則の改廃については、神戸市立工業高等専門学校運営改善会議で協議する。

附 則

この規則は、2023年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、2026年4月1日から施行する。

2 神戸市立工業高等専門学校の3つのポリシーに関する規則（2023年4月規則第110号）は、廃止する。

3 第3条及び第4条並びに前項の規定にかかわらず、2025年度以前に本校に在籍している者に係る養成すべき技術者像及び3つのポリシー（以下「3つのポリシー等」という。）については、なお従前の例による。

4 2026年度以降に本校に転入学し、編入学し、又は再入学した者に係る3つのポリシー等については、当該者の属する学年に在学している他の者に係る3つのポリシー等と同

様とする。

- 5 第2項の規定にかかわらず、専攻科に在籍している者に係る3つのポリシー等については、なお従前の例による。

別記1（第4条第1項関係）

卒業の認定に関する方針（デュプロマ・ポリシー）

共通	学科ごと	
<p>1. 工学や科学、データサイエンスに関する基礎を理解し、説明や導出することができる。</p> <p>2. コミュニケーションや論理的思考の基礎的能力を有し、意見をわかりやすく日本語及び英語で表現することができる。</p> <p>3. 複合的な視点に基づき、地域や世界が抱える課題に積極的に取り組むことができる。</p> <p>4. 多様な文化を尊重する倫理観を有し、信用と健康を保持増進しつつ他者と協働することができる。</p>	システム情報工学科	<p>5. 情報工学、コンピュータサイエンス、ハードウェア設計に関する専門能力や知識ならびに技術を身につけ、活用できる。</p> <p>6. 高度な情報技術、その他情報工学の応用・関連分野において、複雑化する社会システムの課題や高度情報化社会における新たな課題を解決する技術者・研究者として活躍できる。</p>
	知能ロボット工学科	<p>5. ロボット工学、情報工学、機械工学、電気電子工学に関する専門能力や知識ならびに技術を身につけ、活用できる。</p> <p>6. ハードウェア、ソフトウェア両面からのものづくり及びシステムインテグレーションの応用・関連分野において、少子高齢化問題、労働人口減少問題の解決に取り組む技術者研究者として活躍できる。</p>
	機械システム工学科	<p>5. 材料、加工、設計、機械力学、熱、流体、計測、制御及び情報処理に関する専門能力や知識ならびに技術を身につけ、活用できる。</p> <p>6. ものづくり及び機械工学の応用・関連分野において、エネルギー・環境問題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。</p>
	電気電子デザイン工学科	<p>5. 電気・電子工学、半導体デバイス、電力変換、及び情報通信に関する専門能力や知識ならびに技術を身につけ、活用できる。</p> <p>6. 電気・電子工学及び情報通信の応用・関連分野において、エネルギー及び環境など持続可能な社会実現に関する問題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。</p>
	環境応用化学科	<p>5. 有機化学、無機化学、物理化学をはじめとする応用化学全般に関する専門能力や知識ならびに技術を身につけ、活用できる。</p> <p>6. 環境に配慮した合成技術・機能性材料の開発だけでなく、エネルギー問題の解決に積極的に取り組む、ケミカルリテラシーを身につけた技術者・研究者として活躍できる。</p>
	都市デザイン工学科	<p>5. 構造力学、土質力学、水理学、計画学をはじめとする都市工学に関する専門能力や知識ならびに技術を身につけ、活用できる。</p>

		6. 都市工学の応用・関連分野において、都市の防災・減災や社会インフラの維持管理にも対応し、安全・安心で快適な都市空間を実現するための課題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。
--	--	---

別記2（第4条第2項関係）

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

共通	学科ごと	
<p>1. 工学や科学、データサイエンスに関する基礎を理解し、説明や導出する力を育成するために、数学・自然科学・情報技術系科目を設ける。</p>	システム情報工学科	<p>5. 情報工学、コンピュータサイエンス、ハードウェア設計に関する専門知識と理論を体系的に学び、ソフトウェアとハードウェアの両面から高度情報社会における課題やニーズを解決できる技術者を養成するため、システム情報系専門科目を設ける。</p> <p>6. 座学で培ったソフトウェア及びハードウェアに関する知識と技術を基盤に、現実社会の多様な課題を解決するために必要な実践的知識と技術を習得し、高度情報社会における問題発見・解決能力を育成することを目的として、システム情報系実験・実習を設ける。</p>
<p>2. コミュニケーションや論理的思考の基礎的能力を有し、意見をわかりやすく日本語及び英語で表現する力を育成するために、人文科学系科目を設ける。</p>	知能ロボット工学科	<p>5. ロボット工学、情報工学、機械工学、電気電子工学に関連する幅広い知識・理論を習得し、ものづくりにおける広範囲の業務に対応できる実践的技術者を養成するために、ロボット系専門科目を設ける。</p> <p>6. これからの社会基盤となる情報工学及びメカトロニクス、ロボティクスに関連する知識・技術を活用し、ハード、ソフト、社会情勢といった多面的視点から社会の課題に取り組む力を育成するために、ロボット系工学実験を設ける。</p>
<p>3. 複合的な視点に基づき、地域や世界が抱える課題に積極的に取り組む力を育成するために、総合的科目を設ける。</p>	機械システム工学科	<p>5. 機械工学に関連する幅広い知識・理論を習得し、エネルギー・環境問題の観点からものづくりにおける広範囲の業務に対応できる実践的技術者を養成するために、機械系専門科目を設ける。</p> <p>6. 各種機器の開発、設計、製作、保守に必要な知識と技術を習得し、かつ複合的な知識を取り入れて持続的社会的の実現に貢献できる能力を育成するために、機械工学系実験・実習を設ける。</p>
<p>4. 多様な文化を尊重する倫理観を有し、信用と健康を保持増進しつつ他者と協働する力を育成するために、社会科学系科目を設ける。</p>	電気電子デザイン工学科	<p>5. 電気・電子工学系技術者に求められる幅広い専門知識・理論を習得し、ものづくりやエネルギー・環境問題に取り組める技術者を養成するため、電気・電子工学系専門科目を設ける。</p> <p>6. エネルギー等社会基盤技術の基礎となる電気・電子回路、半導体デバイス、電力変換、及び情報通信に関する知識・技術を活用し、多面的視点から社会の課題に取り組むため電気・電子系工学実験実習を設ける。</p>
	環境応用化学科	<p>5. 有機化学、無機化学、物理化学、化学工学、生物工学、材料化学に関連する基本的な知識・理論を習得し、総合的に発展させることで化学的視点から環境・</p>

		<p>エネルギー問題を解決し、持続可能な社会の実現を達成できる実践的技術者の養成を目的として、応用化学系専門科目を設ける。</p> <p>6. 多岐にわたる応用化学系科目に関する知識や技術を活用し、複合的視点から環境低負荷型の持続可能な社会の創造に取り組む力だけでなく、新たな素材開発に挑む力を育成するために応用化学系実験を設ける。</p>
	都市デザイン工学科	<p>5. 都市工学に関連する幅広い知識・理論を習得し、ものづくりにおける広範囲の業務に対応できる実践的技術者を養成するため、都市系工学科目を設ける。</p> <p>6. 数学、自然科学、データサイエンス、都市環境、防災・減災、維持管理の基礎的知識と技術を習得し、防災・減災、維持管理の課題を解決するために、都市工学系実験を設ける。</p>

(成績評価に関する方針)

1. 講義科目においては、科目ごとの到達目標を設定し、定期試験等の結果と演習・レポート・小テストなどの平常の取組とを総合的に勘案し、評価する。
2. 実技・実験・実習・演習などの演習系科目においては、課題への取り組み状況、レポート、発表などを総合的に勘案し、評価する。
3. 卒業研究においては、研究成果をまとめた論文、研究発表、取り組み姿勢などを総合的に勘案し、評価する。

(成績の評価及び単位認定基準)

授業科目の成績評価は、定期試験や臨時試験、小テスト、レポート等の結果を、授業科目ごとのシラバスに明記された評価で総合的に評価し、60点以上を合格とする。合格したものには所定の単位が与えられる。成績評価の標語は次の基準によるものとする。

評 語	優	良	可	不可
点 数	80点以上	70点以上 80点未満	60点以上 70点未満	60点未満

別記3（第4条第3項関係）

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

<p>求める学生像</p>	<p>(1) 科学技術やものづくりに関心があり、将来技術者として広く社会に貢献したい人 (2) 論理的に思考・判断することができ、自分の考えをわかりやすく表現できる人 (3) 基礎的な学力を有し、特に数学や理科が得意で、目標の達成に向けて主体的に取り組める人 (4) 多様な価値観を理解することができ、周囲と協力して課題に取り組める人 (5) 国際的な舞台で活躍したいという希望を持っている人</p>
<p>入学者選抜の基本方針</p>	<p>入学者の選抜は、能力・適性において高等専門学校教育を受けるにふさわしい資質を有する者を、次の3つの方法によって公正に行う。</p> <p>(1) 特別推薦による選抜 学業・人物ともに優秀で、本校への入学意思が強く、志望学科に対して適性・興味及び関心を有し、将来女性エンジニアリーダーとして日本の産業を支える意志が強い、あるいは高度情報人材としてスタートアップに興味のある者を対象とし、中学校から提出された推薦書、調査書と、入学志願者本人作成による志願理由書に基づく面接等により定員の10%程度を選抜する。</p> <p>(2) 推薦による選抜 学業・人物ともに優秀で、本校への入学意思が強く、志望学科に対して適性・興味及び関心を有する者を対象とし、在籍学校から提出された推薦書、調査書、面接等により募集人員の40%程度を選抜する。</p> <p>(3) 学力検査による選抜 本校への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力検査（国語、数学、英語、理科の4教科）の成績と、在籍又は出身学校から提出された調査書の総合判定により選抜する。</p>